

文学

三鷹

311027

『奥の細道』の主な章段を読んでみよう

(その2)

受講料 (振込額)	10,500円		
必携テキスト	――		
講座概要	曜日	水曜日	
	時間	10:00～11:30	
	回数	全7回	定員 50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室	
講師	本学非常勤講師 永田 英理 (ながた えり) 武蔵野大学・白百合女子大学・早稲田大学非常勤講師。早稲田大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。専門は俳文学で、松尾芭蕉の俳諧や俳論を研究している。著書『蕉風俳論の付合文芸史的研究』(ペリかん社、2007年)、共著『連歌辞典』(東京堂出版、2010年)、『おくのほそ道』解釈事典―諸説一覧』(東京堂出版、2003年)など。		
	『奥の細道』は、日本古典のなかでもとりわけ有名な芭蕉の紀行文です。元禄2年(1689)に深川を出発し、日光・奥州・出羽・北陸路を行き、岐阜の大垣で終わりを迎えた芭蕉の5ヶ月の旅は、数年に渡って何度も何度も推敲を重ねられ、『奥の細道』という作品になりました。歌枕(昔の和歌で詠まれた名所)や旧跡を巡り、西行や義経ら歴史上の人物たちと魂を合わせながら辿る芭蕉の旅は、時空を超えた旅の文学といえるでしょう。 本講座では、『奥の細道』の全行程のなかから主な章段を取り上げて、最新の研究成果をふまえながら読み通してゆきます。「夏草や兵(つはもの)どもが夢のあと」、「五月雨を集めて早し最上川」といった、この旅中に生まれたさまざまな名句を味わいながら、芭蕉の旅路と一緒に辿ってみませんか。		
内容	① 6月19日：前回までの振り返り・少女かさねとの出会い(「那須野」) ② 7月3日：謡曲の世界(「殺生石・遊行柳」) ③ 7月31日：陸奥への入口(「白河の関」) ④ 8月21日：陸奥の世界(「須賀川」) ⑤ 8月28日：歌枕を訪ねて(「浅香山・信夫の里」) ⑥ 9月4日：義経伝説を訪ねて(「飯塚の里」) ⑦ 9月18日：名所・旧跡を訪ねて(「笠島」「武隈の松」)		

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7 F
(三菱UFJ銀行のビル)

東京都三鷹市下連雀3-26-12

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。